

2023年11月27日
SCSK株式会社

認証・CA局・アカウント管理・DHCP のアプライアンス製品 「RADIUS GUARD S」を機能強化 ～インポートツール強化、DHCP 性能向上により、管理者・利用者の負荷軽減～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、認証・CA局・アカウント管理・DHCP の機能を併せ持つ「RADIUS GUARD S」(ラディウスガードエス)シリーズを、お客様のネットワーク環境の構築および運用のコスト低減に寄与する機能を強化し、「RADIUS GUARD S V7」として本日より販売開始[※]いたします。

「RADIUS GUARD」は、2009年の販売開始からこれまで10余年にわたり、国内各所のネットワーク環境のセキュリティ強化や利便性向上に貢献し続けてきました。今回の大幅な機能強化で、ネットワーク環境の構築者やネットワーク運用する組織が利用する際の使いやすさをより一層向上しました。

※ 出荷については2024年1月より開始いたします。



RADIUS GUARD S V7 で強化した機能

「RADIUS GUARD S V7」は、「RADIUS GUARD S」シリーズの機能をさらに向上させ、システム管理者や利用者の負担軽減を実現する機能を強化しています。

～主な強化機能～

- ・ 「インポートツール」を強化
クライアント証明書における運用の簡便性を高めるため、Windows 端末にインポートされたクライアント証明書の有効期限を監視し、クライアント証明書を自動で更新するツールを提供します。端末利用者は有効期限切れを意識する必要がなくなり、管理者もクライアント証明書の更新確認作業などの業務から開放されます。
- ・ DHCP 性能の向上
アーキテクチャの大幅見直しを行い、DHCP 払い出し性能を従来の「RADIUS GUARD S」との比較で5倍に向上したことで、大規模ネットワーク環境での DHCP 環境でも安心してご利用頂けます。
- ・ Web API による外部システム連携
外部システムとの柔軟な連携を実現するために、従来の LDAP およびファイルでの連携に加え、Web API を新たに提供します。Web API 経由で「RADIUS GUARD S V7」に格納されている各種アカウント情報の取得や改廃、クライアント証明書の取得が可能となり、組織内システムの柔軟な構成に貢献。API を利用したシステム間連携による運用の迅速化や、アカウント管理の負担軽減を実現します。

RADIUS GUARD S シリーズの特徴

カテゴリ	機能	内容
サービス	認証	Web/MAC/802.1X 認証に対応した RADIUS 認証機能
		RADIUS プロキシ機能(eduroam 対応)
	CA	電子証明書発行機能を有した CA(自己認証局)機能 (クライアント・サーバー・中間の各証明書に対応)
	DHCP	DHCP サーバー *
アカウント	管理	ディレクトリ管理
		MAC アドレス自動登録
		ユーザーへのパスワード有効期限通知
		未使用アカウントの自動削除
	連携	LDAP 連携、SAML 連携、 API 連携 *
ワークフロー	申請	利用者自身による利用 ID・端末・証明書申請
		管理者による審査(許可/却下)機能
		ゲストアカウント申請
	ダウンロード	Windows 版インポートツール提供 *
その他	プラットフォーム	ハードウェアアプライアンス版 バーチャルアプライアンス版 クラウドサービス版

※RADIUS GUARD S V7 で強化した機能

本件に関するご説明のご依頼や、ご不明な点がございましたら、弊社担当営業もしくは下記までご連絡ください。
なお、本記載の情報(製品・サービスの内容、仕様、お問い合わせ先、URL など)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

プロダクト・サービス事業グループ

ネットワークセキュリティ事業本部 セキュリティプロダクト第二部 RADIUS GUARD 担当

TEL:03-5859-3037

E-mail: rg-staff@scsk.jp

※「RADIUS GUARD」は弊社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。